

2022年度 大阪公立大学 地域連携フォーラム

新しいつながりに向けて ～地域 × 大学～

日時

2023年 3月 15日 水

13:00～17:00 (受付 12:30～)

大学と地域の連携に
関心のある方なら
どなたでもご参加ください！

参加
無料

形式

ハイブリッド開催 (会場：大阪公立大学 杉本キャンパス 田中記念館)



大阪公立大学が誕生し、まもなく1年を迎えます。府と市を母体を持った2つの大学が15の研究科を擁する1つの大学となり、大阪府下全域をフィールドにさまざまな分野における連携が一層進んでいます。本学は、都市・大阪に所在する唯一の公立大学として教育・研究に加え社会貢献にも注力し、都市課題の解決や地域活性化の推進を目指しています。

本フォーラムでは、本学教員や学生が地域の魅力創出や課題解決に向けて地域と連携して行った取り組みを発表します。多様な分野における連携事例をご紹介しますことで、大学と地域が連携していくためのノウハウの共有や、さらなる連携の可能性について考えてみませんか。ぜひこの機会にご参加ください。

申込方法

下記 URL または QR コードから
お申し込みいただけます。

<https://www.omu.ac.jp/connect/projects/etc/4c-forum/2022/index.html>



▼申込締切

2023年3月7日(火) 17:00

▼定員

現地参加 120名(先着順)
オンライン参加者 定員無し

お問い合わせ

大阪公立大学 地域連携センター
事務局：社会連携課

TEL:06-6605-2068 (平日 9:00～17:00)

gr-shak-chiiki4c@omu.ac.jp

<https://www.omu.ac.jp/connect/>

会場アクセス

大阪市住吉区杉本 3-3-138



主催

大阪公立大学
地域連携センター



プログラム

13:00 ~ 13:05	開会挨拶																		
13:05 ~ 14:20	学生による地域連携事例発表（5組） 発表タイトル及び発表者 <table border="0"><tr><td data-bbox="255 336 351 459">発表 1</td><td data-bbox="351 336 821 459">大阪港周辺で暮らしていた水上生活者に関する住民の記憶を掘り起こす 文学研究科 市道寛也</td><td data-bbox="821 336 901 459"></td><td data-bbox="901 336 997 459">発表 4</td><td data-bbox="997 336 1460 459">対話による死生観形成の場づくりー地域住民と創る「ここでカフェ」の取り組み ここでカフェ 友居和美（人間社会システム科学研究科）</td><td data-bbox="1460 336 1516 459"></td></tr><tr><td data-bbox="255 459 351 582">発表 2</td><td data-bbox="351 459 821 582">コンタクトレンズプリスターバック回収プロジェクト 環境部エコ助 杉野菜月、中西仁太（現代システム科学域） 竹内久太、橋和奏（生命環境科学域）</td><td data-bbox="821 459 901 582">  </td><td data-bbox="901 459 997 582">発表 5</td><td data-bbox="997 459 1460 582">徳島県のアンテナショップの調査研究 CR 副専攻・地域実践演習チーム 菰淵柊翔・浅沼柁男・孟秋鴻・高木司（経済学部） 阪本也実・吉本駿（商学部）、佐竹春奈・清原ゆい菜（文学部）</td><td data-bbox="1460 459 1516 582"></td></tr><tr><td data-bbox="255 582 351 705">発表 3</td><td data-bbox="351 582 821 705">旭区防災教育 生活科学部 高野海瑠 現代システム科学研究科 和葉真理子</td><td data-bbox="821 582 901 705"> </td><td colspan="2"></td><td></td></tr></table>	発表 1	大阪港周辺で暮らしていた水上生活者に関する住民の記憶を掘り起こす 文学研究科 市道寛也		発表 4	対話による死生観形成の場づくりー地域住民と創る「ここでカフェ」の取り組み ここでカフェ 友居和美（人間社会システム科学研究科）		発表 2	コンタクトレンズプリスターバック回収プロジェクト 環境部エコ助 杉野菜月、中西仁太（現代システム科学域） 竹内久太、橋和奏（生命環境科学域）	  	発表 5	徳島県のアンテナショップの調査研究 CR 副専攻・地域実践演習チーム 菰淵柊翔・浅沼柁男・孟秋鴻・高木司（経済学部） 阪本也実・吉本駿（商学部）、佐竹春奈・清原ゆい菜（文学部）		発表 3	旭区防災教育 生活科学部 高野海瑠 現代システム科学研究科 和葉真理子	 			
発表 1	大阪港周辺で暮らしていた水上生活者に関する住民の記憶を掘り起こす 文学研究科 市道寛也		発表 4	対話による死生観形成の場づくりー地域住民と創る「ここでカフェ」の取り組み ここでカフェ 友居和美（人間社会システム科学研究科）															
発表 2	コンタクトレンズプリスターバック回収プロジェクト 環境部エコ助 杉野菜月、中西仁太（現代システム科学域） 竹内久太、橋和奏（生命環境科学域）	  	発表 5	徳島県のアンテナショップの調査研究 CR 副専攻・地域実践演習チーム 菰淵柊翔・浅沼柁男・孟秋鴻・高木司（経済学部） 阪本也実・吉本駿（商学部）、佐竹春奈・清原ゆい菜（文学部）															
発表 3	旭区防災教育 生活科学部 高野海瑠 現代システム科学研究科 和葉真理子	 																	
14:20 ~ 14:30	休憩																		
14:30 ~ 15:45	本学教員による地域連携事例発表（4件） <table border="0"><tr><td data-bbox="255 884 351 952">発表 1</td><td data-bbox="351 884 1460 952">タケミミズ堆肥と種々の資材との組み合わせによる植物病害の新たな防除技術開発の試み 発表者：農学研究科 教授 東條元昭</td><td data-bbox="1268 929 1524 1086"></td></tr><tr><td data-bbox="255 1108 351 1176">発表 2</td><td data-bbox="351 1108 1460 1176">公共の資源をあとに残し、つぎに繋ぐ。ato/tugi プロジェクト 発表者：工学研究科 講師 西野雄一郎</td><td data-bbox="1268 1108 1524 1288"></td></tr><tr><td data-bbox="255 1310 351 1377">発表 3</td><td data-bbox="351 1310 1460 1377">地域を活かすスポーツ振興策 発表者：国際基幹教育機構 教授 坪内伸司</td><td data-bbox="1268 1310 1524 1489"></td></tr><tr><td data-bbox="255 1512 351 1579">発表 4</td><td data-bbox="351 1512 1460 1579">津波2次避難計画に係る歩行訓練 発表者：都市科学・防災研究センター 教授 生田英輔</td><td data-bbox="1268 1512 1524 1691"></td></tr></table> <p>モウソウチクの粉砕物から作られるタケミミズ堆肥は、数種の土壌伝染性植物病原菌の発病に抑制効果を示します（写真左：タケミミズ堆肥ではハクサイの苗立枯れが抑制されている。右：市販の育苗土）。この新たな堆肥の発病抑制効果を高め、有機農産物やエコ農産物の普及・拡大につなげることを目指し、河内長野市役所や同市内の里山クラブの協力を得て、タケミミズ堆肥の作出法を開発し発病抑制効果を検証してきました。堆肥と他の資材（病原拮抗微生物や竹炭など）との組み合わせ効果を模索した試みについてもお話します。</p> <p>守口市は少子高齢化に対して公共施設の統廃合を進めており、小学校では統合する2校を廃校にし、新たに校舎を建設するといった具合です。この例のように施設の解体では、まだ使用可能な家具や什器も廃棄されており、公共財を積極的に活用・流通することが期待されています。本活動では守口市と連携し、公共財のリメイクデザインなどの活用策を開発し、社会実験において流通に向けた試行販売を行いました。 https://www.instagram.com/atotugi_official/</p> <p>本学の副専攻「地域再生」では、学生自らが地域の課題を解決するための提案することや、地域活性化のための企画を運営すること等を通して、地域で主体的に活躍するマインドを身につけるとともに、大学が地域の拠点としてその発展に寄与できることを目標としています。「地域を活かすスポーツ振興策」のテーマで堺市と連携し、堺市民の健康増進施策について授業を展開しています。ここでは、堺市民の健康保持増進のため、スポーツに関わる活動状況や堺市スポーツ推進プランの取り組みについてお話します。</p> <p>大阪市と本学は津波浸水区域外での災害時避難所確保計画検討ワーキンググループを設置し、南海トラフ巨大地震発生後の津波浸水地域から、非浸水地域への避難を検討しています。ワーキンググループでは2021年度以降、事前に検討された浸水地域内の出発地及び非浸水地域内の目的地、出発地と目的地を結ぶ経路に関して、実際に歩行する歩行訓練を実施しています。訓練においては、経路環境を評価した上で、参加者の事前・事後アンケート、参加者による危険物・対応資源調査、参加者の生体情報計測、速度統制等の諸要件の試行等を行いました。</p>	発表 1	タケミミズ堆肥と種々の資材との組み合わせによる植物病害の新たな防除技術開発の試み 発表者：農学研究科 教授 東條元昭		発表 2	公共の資源をあとに残し、つぎに繋ぐ。ato/tugi プロジェクト 発表者：工学研究科 講師 西野雄一郎		発表 3	地域を活かすスポーツ振興策 発表者：国際基幹教育機構 教授 坪内伸司		発表 4	津波2次避難計画に係る歩行訓練 発表者：都市科学・防災研究センター 教授 生田英輔							
発表 1	タケミミズ堆肥と種々の資材との組み合わせによる植物病害の新たな防除技術開発の試み 発表者：農学研究科 教授 東條元昭																		
発表 2	公共の資源をあとに残し、つぎに繋ぐ。ato/tugi プロジェクト 発表者：工学研究科 講師 西野雄一郎																		
発表 3	地域を活かすスポーツ振興策 発表者：国際基幹教育機構 教授 坪内伸司																		
発表 4	津波2次避難計画に係る歩行訓練 発表者：都市科学・防災研究センター 教授 生田英輔																		
15:45 ~ 16:15	交流企画① / 休憩 会場を移し参加者同士が自由に交流する時間としています。 発表した教員への質問受付やポスターによる学生の活動紹介も行う予定です。																		
16:15 ~ 16:40	交流企画② 先に受け付けた質問をもとに事例発表の教員へ質疑応答を行うとともに、意見交換会として地域と大学の連携について考えます。																		
16:40 ~ 16:50	学生による地域連携事例発表 表彰式																		
16:50 ~ 17:00	閉会挨拶																		

